

熊本県感染症情報 (10月4日～10月10日)

KKT 熊本県民テレビ 医療サイト事務局

◆◆◆ 感染性胃腸炎、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）、突発性発疹の報告が多い ◆◆◆

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	4	11	百日咳	0	0
RSウイルス感染症	41	9	ヘルパンギーナ	6	8
咽頭結膜熱	19	11	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	64	100
A群溶血性連鎖球菌 咽頭炎	17	26	急性出血性結膜炎	0	0
感染性胃腸炎	164	148	流行性角結膜炎 (はやり目)	7	10
水痘	29	51	細菌性髄膜炎	1	0
手足口病	27	30	無菌性髄膜炎	0	0
伝染性紅斑 (りんご病)	36	23	マイコプラズマ肺炎	2	1
突発性発しん	46	50	クラミジア肺炎	1	0

- 感染性胃腸炎は、報告数 164 件(前週報告数 148 件)と増加。
地区別では、人吉、菊池、山鹿に多く報告がみられる。
年齢別では、10～14歳の28件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)は、報告数 64 件(前週報告数 100 件)と減少。
地区別では、宇城、山鹿、八代に多く報告がみられる。
年齢別では、3歳の17件を最多に、15～19歳以下からの報告である。
- 突発性発疹は、報告数 46 件(前週報告数 50 件)と減少。
地区別では、熊本、菊池、宇城、天草に報告が多くみられる。
年齢別では、7～12ヶ月の26件を最多に、2歳以下からの報告である。

RSウイルス 感染症

RSウイルス感染症は例年、9月下旬ころから増え始め、冬場にピークを迎えます。今週は41件の報告があり、先週の9件から大幅に増加しました。RSウイルスは、呼吸器感染症の原因のひとつで、年齢を問わず感染し、かぜの様な症状がみられます。健康な成人においてはあまり心配する必要はありませんが、新生児～乳児期に感染すると重症化し「細気管支炎」を引き起こす場合があります。細気管支炎は、発熱や咳、鼻水など、かぜの症状で始まりますが、次第に咳がひどくなり、「ゼイゼイ」と苦しそうな息になってきます。「ゼイゼイ」が治まっても、痰がからんだ咳がしばらく続きます。症状がひどい場合、入院での治療が必要になることがあります。特に6ヶ月未満の赤ちゃん、未熟児、呼吸器系や循環器系の基礎疾患がある方などは、重症になりやすい傾向があります。患者の咳やくしゃみ、それに触れた手などから感染します。RSウイルスの流行状況に注意し、特に小さなお子さんに「かぜ」をうつすことのないよう、注意しましょう。

◆◆◆ 年齢別発生状況 (インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点) ◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0～5ヶ月	6～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上	
インフルエンザ	4		1				1		1					1								
小児科定点年齢	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20歳以上							
RSウイルス感染症	41	5	14	12	6	3					1											
咽頭結膜熱	19		3	4	6	1	1	1	1			1	1									
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	17		1	1	2	3	1	1	1	2	1	2	2		1							
感染性胃腸炎	164	2	23	20	13	13	13	12	6	7	7	6	28	5	9							
水痘	29		2	5	8	6	5		1	1		1										
手足口病	27	1		9	4	8	3	1			1											
伝染性紅斑	36		2	2	6	11	5	6	2						2							
突発性発しん	46	2	26	15	3																	
百日咳	0																					
ヘルパンギーナ	6			3		2				1												
流行性耳下腺炎	64			3	10	17	10	9	5	4	4	1		1								
眼科定点年齢区分	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	7					1			1							3	1					1
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	1																					1
無菌性髄膜炎	0																					
マイコプラズマ肺炎	2				1		1															
クラミジア肺炎	1				1																	